

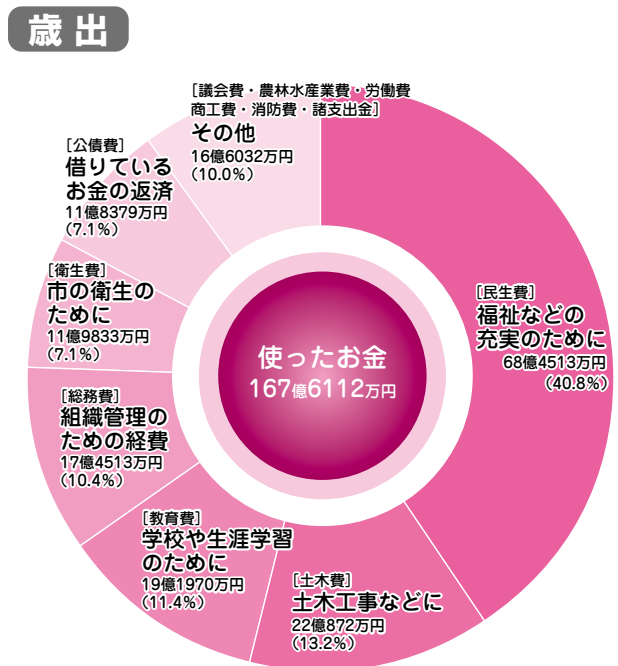
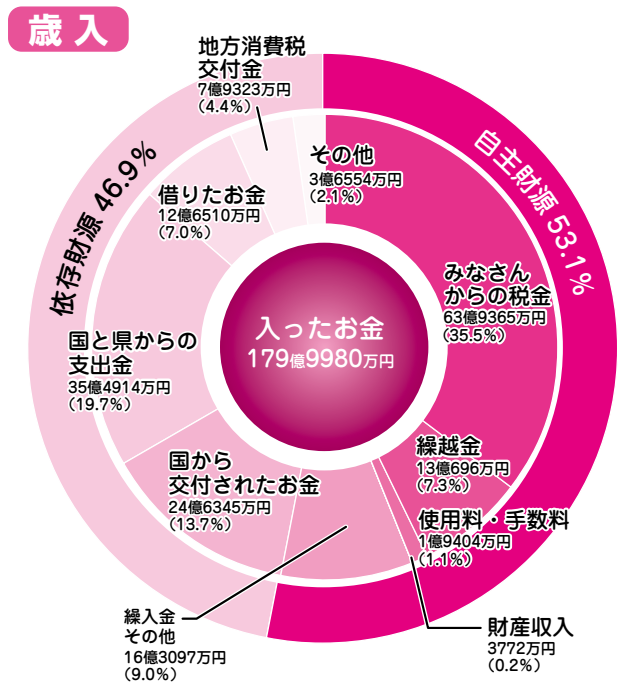
平成29年度一般会計決算を認定

歳入総額 179億9,980万円 歳出総額 167億6,112万円
 (前年度比1.0%減) (前年度比0.7%減)

実質収支額 (決算剰余金) 8億2,540万円

平成29年度一般会計の決算状況

9月定例会



歳入・歳出
 歳入では、自主財源の根幹を占める市税(みなさんからの税金)は、前年度比1.5%の増となりました。予算現額に対する収入率は101.0%。

歳出では、予算現額に対する執行率は前年度比1.9%減の89.4%。人件費・扶助費・公債費(義務的経費)の歳出は前年度比0.1%増の45.1%でした。

平成30年9月定例会は、9月3日から9月28日までの26日間の会期で開かれました。市長提出議案は、平成29年度一般会計・特別会計決算の認定・水道事業会計未処分利益剰余金処分および決算の認定9件、条例案5件、市道路線認定・変更・廃止3件、平成30年度一般会計・特別会計・水道事業会計補正予算8件の合計25件と人事案件2件でした。一般会計補正予算では修正動議が提出されました。一般質問は、11人の議員が市政をただしました。審議の結果、いずれも原案のとおり、認定、可決、同意されました。

一般会計・特別会計(水道会計を除く)歳入決算合計は前年度比1.1%増の324億3665万円。歳出決算合計は同比1.4%増の302億2782万円でした。水道事業会計決算は収益的収入が11億6635万円。支出は10億1760万円。良好な経営となっています。給水量1mあたりの利益は、7円67銭でした。

一般会計・特別会計の決算状況

平成29年度その他会計の決算状況

(単位 円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	7,926,732,516	7,431,260,907	495,471,609
後期高齢者医療特別会計	558,148,183	554,542,950	3,605,233
介護保険特別会計	3,750,473,006	3,420,374,558	330,098,448
農業集落排水事業特別会計	30,407,609	28,629,566	1,778,043
公共下水道事業特別会計	1,242,662,198	1,167,990,849	74,169,349
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	928,424,200	863,893,402	31,082,798
水道事業会計(収益的収支)	1,166,345,107	1,017,604,445	148,740,662

平成29年度幸手市
一般会計決算質疑内容

質疑

平成29年度の歳入決算総額が179億9980万円です。一方、歳出総額は167億6112万円、実質収支が8億2540万円、単年度収支がマイナスの8518万円577円、積立金が1億6800万円、取り崩し額は4億6千万円、実質単年度収支が3億7700万円の赤字です。こういった、市の現在の財政状況をどのように見ているか伺います。

答弁

当市の平成29年度決算の歳入は、前年度と比べ1億8593万8千円、1%ほどの減少となっております。主な要因といたしまして、前年度と比べて、市税、地方譲与税、利子割交付金などが増額したものの、地方交付税や国庫支出金などが減額となっております。歳出は前年度と比べ1億1765万

千円、0.7%ほどの減少となっております。主な要因といたしまして、前年度と比べて古川橋架け替え工事などの支出が増加したほか、小中学校へのエアコン借上料が皆増したものの、幸手駅自由通路整備工事負担金などの減少や圏央道関連事業負担金が皆減となっております。

質疑

財政構造の弾力性を示す問題として、公債費比率では38%ですが負担比率の方で見ると10・3%ということですが、この比率の違いは臨時財政対策債の償還分を入れるか入れないかでこの数字が変わってきているのかなと思うのですが、これをどのように理解をされ判断をされているのか、その原因についても伺います。

答弁

市の財政構造の弾力性を示す経常収支比率は93・1%であり、前年度と比べて1.9ポイント増加し、また、公債費負担比率も10・3%と、1.4ポイント増加しております。今後、重点プロジェクト事業が

終了していく一方で、老朽化した公共施設の更新費用や社会保障関連経費など多額の財源を必要とする状況が続くと想定されることから、経常収支比率を初め健全化判断比率等に留意するとともに、限られた貴重な財源を効果的に配分し、持続可能な財政運営を行ってまいりたいと思っております。

質疑

重点プロジェクトで計画している平成31年度庁舎関係の予算8億9239万千円は計上可能か伺います。

答弁

アセットマネジメントの一環として個別計画を策定中です。庁舎についてもその計画を立てた上で今後の検討に入りたいということで、重点プロジェクトの計画には入っていたが、平成31年度の庁舎関係の予算については計上しないものです。

平成32年度までは国庫補助はありませんが起債、地方債の許可はおりるようです。

(議案第70号)
平成29年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定についてを認定

反対討論

大平 泰二

重点プロジェクト計画の平成29年度建設費は4億1360万99千円としましたが、当初予算でこれを11億2892万円に変更したものの、執行した予算は1億1697万円で残り9億3963万円は30年度に繰越す予算措置です。30年度駅舎建設予算は10億900万円となっており、繰越と合わせた平成30年度の契約金額は19億4863万円であり、計画性のない年度内支払いは可能か疑問です。

賛成討論

小林 順一

市で購入したドローンを災害時の他、あらゆる場面での活用、また公明党が要望の「じいじ・ばあばスタートブック」の作成は子育ての力強い応援が期待されます。市内全小中学校の全普通教室等にエアコンが設置され、児童生徒の学習意欲の向上が図られ、さらには市民のニーズに応える施策の実

施に期待し、議案第70号平成29年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定の賛成討論とします。

反対討論

武藤 壽男

平成29年度幸手市一般会計歳出決算は、多額の事業繰越により執行率89.4%と低いものであった。小学校の大規模改修や、全小中学校にエアコン設置を実施し、今年酷暑の中でも教育環境を確保する事が出来たことなど評価する事業もあった。しかし、不適正な補助金事務執行等が発覚したが、その調査も当事者同士の調査であつて公正さを欠くものであった。それによる還付金もあり認め難い。

賛成討論

木村 治夫

歳入では、市税全体で対前年度比9650万635円、徴収率97.79%、率にして0.45%上昇している。評価すべき事業として、3世代ファミリー定住事業、第二保育所建替え、幸手産コシヒカリの販売促進、自主防災組織への補助、小中学校全12校にエアコン設置などの市民サービスや発展事業については地域経済を注視し、国等交付金を活用し、市民対話・交流

を基本とした市政運営を要望する。

(議案第73号)
平成29年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを認定

反対討論

大山 重隆

私は、次の4点を根拠とし反対と致します。①幸手市の高齢者率は33%、自宅で安心できるサービスの整備は、久喜・杉戸に比べ遅れている。②介護施設へ入りたくても費用が高くて入れない。補助制度も十分でなく、特養ホームは空いている状況である。③認知症対策・予防にて、地域の見守り、公的サポートが不十分である。④本来、介護の充実に使えるお金を3億3千万円も繰り越している。

(議案第76号)
平成29年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを認定

賛成討論

木村 治夫

駅西口土地区画整理事業は、長期間かつ膨大な費用経費がかかる。しかし、交通面、防災面等の解消と市の玄関口整備、地域の利便性、快適性、安全性を高める重要な事業である。駅西口地区の住民にとって西口開設は悲願であります。今後においても国庫補助金などの財源確保に努めながら、計画的な事業展開を図り、推進していただけるよう強く要望し、賛成討論とする。

当条例は、市内唯一の市立吉田幼稚園を廃止するものである。小学校の統廃合では学校機能は無くならなかった。しかし今回は、公立の幼稚園機能は皆無に、市は幼児期教育に積極的関与をせずということである。誰もが認める最高の環境の幼稚園である。社会情勢に応じた工夫を真剣に研究し、人間形成の根幹を為す幼児期教育を市において責任を持って行うべきであり、当条例改正には反対。

(議案第80号)
幸手市立学校設置条例の一部を改正する条例を可決

反対討論

中村 孝子

反対討論

武藤 壽男

市立吉田幼稚園は、議会の要望により設置され、広々とした緑と木のぬくもり豊かな園庭、園舎を持つ全国にも誇れる幼稚園である。お母さん方からも自然と共生するなかで友達を思いやる教育が実践され、是非存続していただきたいとの熱い請願もあり、更に教育基本法第11条に規定されている通り、自治体は幼児教育の振興に努めなければならぬとされ、公立幼稚園の廃止には反対である。

(議案第86号)
平成30年度幸手市一般会計補正予算(第3号)を可決

平成30年度幸手市一般会計補正予算(第3号)の審議の際に、幸手駅橋上駅舎東西自由通路完成記念式典業務委託料など3事業を減額とする修正案が提出されました。修正案は審議の結果、否決となり、原案可決となりました。

原案に対する賛成討論

本田 諤子

土木費、駅舎整備事業費の委託料は、来年3月に完成する幸手駅橋上駅舎東西自由通路完成を、市民と共に祝うための費用です。駅はエレベーターやエスカレーターが設置され、ゆったりとした造りは災害時にも役に立ち、子どもや高齢者にもやさしい、市民参加型の駅とも言えます。予算の半分は県の補助金の内示が出ました。たくさんの市民の心に残る有意義なお祝いになると期待いたします。

原案に対する反対討論

大平 泰二

市が民間橋上駅舎完成記念式典に投入する予算総額は1320万4千円にもなります。特に記念モノメント設置は、市民参加も見積も構想図もない中で600万円を計上しています。そもそも、橋上駅舎は東武鉄道の所有で民間施設です。その民間施設の完成式典を公費で行うことは認められませんが。ちなみに、幸手市民祭りは400万円、圏央道側道開通式で99万円程度の予算で式典を行っていただきます。

原案に対する賛成討論

木村 治夫

橋上駅舎完成式典や西口駅広モメント設置等は、長年にわたる市の懸案事項であり、多くの市民の念願であった式典には多数の市民の皆様に参加していただきたい。子どもたちからお年寄りまで、多くの市民が駅舎と自由通路と西口広場に集い、外へ向けて情報発信してくれるでしょう。市はよくあるよと言えることが事業成果であり、イメージアップになる。努力と覚悟で取り組むこと。

修正案に対する賛成討論

武藤 壽男

今回の補正予算には古川橋関連の補償金の増額補正もあるが生活権とその機能確保のため、地権者の立場に立って協議解決されたい。修正案は、駅東西自由通路開通及び西口広場の供用開始に伴う式典費用約1300万円を200万円に減額するものである。開通は市民の共通の喜びではあるが、社会や財政の状況の中では、税金で行う事業は慎重であるべき。同様の岩槻駅は約100万円であった。

(議案第89号)
平成30年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第1号)を可決

反対討論

大山 重隆

介護保険の保険者は市であります。つまり、市の意向で介護サービスの充実に大きな差がでるという事です。補正予算の「地域包括支援センター運営事業」において、高齢者・要介護者・認知症の方が増え、センターの仕事量・要望が大きくなります。市の方針は、民間委託のまま東西2ヶ所。杉戸町は増やして3ヶ所。定員は各5人のまま。全国平均は、8人である。介護の充実には程遠い。

人事案件

教育委員会委員

会 田 研 司 氏

を任命することに同意しました。

監査委員

小 林 清 春 氏

を選任することに同意しました。